報道関係各位

2026.11.11

アストンマーティン ジャパン

アストンマーティン Vantage、FIA WEC 2026 年シーズンを鮮やかな表彰台で締めくくる

- **アストンマーティン Vantage、FIA 世界耐久選手権 2026 年シーズン 6 度目の表彰台**
- **The Heart of Racing、2026 年 FIA 耐久トロフィーLMGT3 チーム部門 5 位を獲得**
- **23 号車アストンマーティン Vantage GT3、ドゥドゥ・バリチェロの猛追でモンツァ 6 時間レース 2 位に**
- **バリチェロ、グレイ・ニューウェル、ジョニー・アダムは僅差で優勝を逃す**
- **イアン・ジェームズ、ザカリー・ロビション、マティア・ドルディはトップ 10 フィニッシュでシーズンを終える**



2026 年 11 月 8 日、モンツァ（イタリア）：

英国のウルトラ・ラグジュアリー・パフォーマンス・ブランドであるアストンマーティンの歴史において最も成功を収めているレーシングカーVantage が、11 月 8 日（日）にイタリアで開催された 2026 年 FIA 世界耐久選手権最終戦のモンツァ 6 時間レースで、シーズン 6 度目となる表彰台を獲得しました。

The Heart of Racing（THOR）のグレイ・ニューウェル（米国）、ドゥドゥ・バリチェロ（ブラジル）、ジョニー・アダム（英国）は、レース序盤に追突され最後尾まで後退しながらも、波乱に満ちたレースを激走。激しい戦いを走り抜いて迎えた緊迫した最後の 1 時間の攻防の末、惜しくも僅差で初優勝を逃し 2 位となりました。

これにより、THOR チーム 23 号車は FIA 耐久トロフィーLMGT3 チーム部門 5 位を獲得し、ニューウェルとアダムは LMGT3 ドライバー部門 7 位でシーズンを終えました。初参戦のニューウェルは、ル・マン 24 時間レースの 3 位をはじめとする 3 度の表彰台獲得を果たし、見事なデビューシーズンとなりました。

ニューウェルは Vantage で好調なスタートを切りました。Vantage はアストンマーティンが誇る信頼性の高い接合アルミシャシーをベースに、パワフルな 4.0 リッターV8 ツインターボ・エンジンを搭載する、アストンマーティンの中でもスポーツカーとしての要素を最も意識したモデルです。ところが、レース開始後 40 分経過したところでライバルに追突され、コースアウト。ニューウェルは最後尾から追い上げ、9 番手でバリチェロに交代します。バリチェロは驚異的な追い上げを見せ、最初のスティントで順位を 3 番手まで上げてピットイン。続くアダムは、フルコースイエローが繰り返される波乱のレース展開の中で 23 号車 Vantage のトップ 4 圏内を守り抜きました。

その後、トラックリミット違反によるペナルティでタイム抹消となったものの、土曜日の予選では最速を記録したバリチェロの猛追が始まります。手始めに、2 番手の BMW と激戦を繰り広げ、追い抜きに成功します。そして燃料残量にも細心の注意を払いながら、首位を走るポルシェを追い、難なくその差を縮めていきました。最後の給油のためのピットストップを終え、バリチェロは優勝を賭けてポルシェの追撃を続け、ラスト 2 周はポルシェのスリップストリームに入りチェッカーフラッグが振られるまで追撃を続けました。

バリチェロは次のように述べています。「この日チームは好調で、全員がとても良い仕事をしました。私もベストを尽くし、マシンも非常に速かったです。今年最後の締めくくりに優勝したかったところですが、悪い終わり方ではないと思います。チームにも、アストンマーティンにも、とても満足しています。The Heart of Racing にはまたとない機会をもらえたので、チームの期待に十分応えられたことを願っています」

ニューウェルも次のように述べました。「自分が前に進んでいるという確かな手応えを感じています。私たちはこれまでも良い結果を出してきていますが、今日は最高でした。追突でグラベルに弾き出されましたが、どうにかリードラップに残って順位をいくつか取り戻してから交代でき、他のメンバーに素晴らしい仕事をしてもらえました。ドゥドゥはまさにミサイルのよ

うな走りで、彼の良さについては言葉では言い尽くせないものがあります。この素晴らしいチームとスタッフの一員であることが、本当に幸運だと感じています」

アダムは次のように述べました。「素晴らしいフィニッシュでした。ドゥドゥは週末ずっと絶好調で、最後のスティントも格別でした。23 号車とクルーが成し遂げたことを、心から喜んでいます。今年は、グレイの WEC 参戦 1 年目ということもあって、学びの年となることを想定していましたが、ル・マンを含む 3 つの表彰台を獲得し、チャンピオンシップを 5 位で終えられたのは、予想以上の成果です。チームとしてうまくまとまることができましたし、皆と仕事ができて本当に楽しかったです」

チーム代表のイアン・ジェームズ（英国）、マティア・ドルディ（イタリア）、ザカリー・ロビション（カナダ）の姉妹車 27 号車 Vantage GT3 は、10 位でフィニッシュしました。彼らも、別のマシンに衝突されるまでは優勝圏内にいました。

ジェームズは次のように述べています。「23 号車が表彰台に上がるのを見て、大きな喜びを感じました。このマシンにとっては非常に好調な一年でした。彼らが表彰台に立ち、今年成し遂げたことを目の当たりにできて、素晴らしい気分でした。グレイは今シーズン、絶好調でした。今年は経験を積むための年と位置づけていましたが、彼は最初から高い基準を打ち立て、それをさらに超えていきました。並外れた活躍を見せてきましたが、どんどん学んでいて、今後も力を付けていくでしょう。また、この場を借りて、シーズンを通して並々ならぬ努力を尽くしてきたアストンマーティン・レーシングと The Heart of Racing チームの皆様にも、ここでお礼を申し上げたいと思います」

Vantage は、米国テキサス州オースティンにあるサーキット・オブ・ジ・アメリカズ（COTA）で開催されたローンスター・ル・マンでの THOR の 27 号車による LMGT3 クラス優勝を含め、2026 年 FIA WEC で表彰台を 6 度獲得しました。23 号車も、モンツァの 2 位のほか、COTA とル・マンで 3 位フィニッシュを決めています。ジェームズ、ロビション、ドルディはスパ・フランコルシャン 6 時間レース（ベルギー）と富士 6 時間耐久レース（日本）でも 2 位を獲得し、FIA 耐久トロフィーLMGT3 チーム部門 7 位となりました。

アストンマーティンの耐久モータースポーツ責任者のアダム・カーターは次のように述べました。「アストンマーティン Vantage は、2026 年 FIA WEC を通して速いペースを発揮し、当社のパートナーチームである The Heart of Racing の強力な快進撃を支える要因の一つとなっていました。ほんのもう少し運があれば、今シーズンは 1 勝だけでなくもっと勝てたでしょうし、真のチャンピオン候補になれるだけのペースとポテンシャルは持っていると思います。こうしたプラス要素を持ってこの冬に臨み、課題を乗り越え、2027 年にさらに強くなって戻ってきます」

Vantage の一年はここで終わるわけではありません。The Heart of Racing の 2 台のアストンマーティン、そして AMR のパートナーチームである Car Blanche by RSL と Blackthorn は、次は 11 月 13 日から 15 日にフランスのポール・リカールで開催される 2026/27 年アジアン・ル・マン・シリーズの開幕 2 戦に挑みます。

こちらのプレスリリースに関する素材は、下記よりダウンロード可能です。
https://we.tl/t-EDdmw0vn6LbzgfnQ

アストンマーティン・ラゴンダについて
アストンマーティンは、世界でもっとも熱望されるウルトラ・ラグジュアリー・ブリティッシュ・ブランドとなることを目指し、人々を魅了してやまないハイパフォーマンス・カーを作っています。

ライオネル・マーティンとロバート・バンフォードによって1913年に設立されたアストンマーティンは、スタイル、ラグジュアリー、パフォーマンス、エクスクルーシブネスを象徴するグローバル・ブランドとして知られています。アストンマーティンは、最先端のテクノロジー、卓越したクラフトマンシップ、美しいスタイルを融合させ、Vantage、DB12、Vanquish、DBXに加え、同社初のミッドエンジン・ハイブリッド・カーであるValhallaなど、高い評価を得ている一連のラグジュアリー・モデルを生み出しています。また、Racing. Green.サステナビリティ戦略に沿って、アストンマーティンは「ブレンドドライブトレインアプローチ」による内燃エンジンの代替システムの開発にも取り組んでおり、電気自動車のスポーツカーとSUVのラインナップを持つというプランを描いています。

英国のゲイドンを拠点とするアストンマーティン・ラゴンダは、ラグジュアリー・カーを設計、製造、輸出し、世界で50以上もの国で販売しています。スポーツカー・ラインナップはゲイドンで製造されており、ラグジュアリーSUVのDBXは、ウェールズのセント・アサンで製造されています。

ラゴンダは1899年に設立され、1947年にアストンマーティンとともに故デビッド・ブラウン卿に買収され、現在は「Aston Martin Lagonda Global Holdings plc」としてロンドン証券取引所に上場しています。

2020年には、ローレンス・ストロールが同社のエグゼクティブ・チェアマンに就任し、未来の重要な分野に対して新たな投資を行うと同時に、アストンマーティン・アラムコ・フォーミュラ1®チームとともにモータースポーツの頂点へと復帰し、英国を象徴するブランドとして新た

な時代へと乗り出しています。

https://media.astonmartin.com/

株式会社ブレインズ・カンパニー
加藤 七瀬：070-7611-6970　中井 美里：070-2238-5865
astonmartin-pr@pjbc.co.jp